

会 議 録

(6-1)

会 議 の 名 称		令和6年度第2回春日部市総合教育会議		
開 催 日 時		令和6年10月24日(木)	開 会	午後4時00分
			閉 会	午後4時55分
開 催 場 所		市役所5階 市長公室		
議長(会長等)氏名		岩谷 一弘		
出席者	委員氏名	(出席人数：6人) 市長 岩谷 一弘 教育長 鎌田 亨 教育長職務代理者 水沼 章文 教育委員 金森 良泰 教育委員 岡田 新司 教育委員 山口 早苗		
	説明者 その他	(出席人数：10人) こども未来部長 森田 温美 学校教育部長 篠原 直樹 社会教育部長 小谷 啓敏 市民生活部次長兼市民参加推進課長 中村 匡則 こども未来部次長兼こども相談課長 野口 勉 学校教育部次長兼教育総務課長 成塚 淳一 学務指導担当次長兼指導課長 佐山 宏樹 社会教育部次長兼社会教育課長 関根 栄治 こども育成課長 手崎 貴代公 スポーツ推進課スポーツ施設担当課長 福島 伸五		
	事務局	(出席人数：3人) 総合政策部次長兼政策企画課長 川村 明 政策企画課政策企画担当主幹 星 大輔 政策企画課政策企画担当主事 土居 昌弥		
次第及び公開・一部 公開・非公開の区分		<次第> 1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議・調整事項 (1) 外国人児童生徒に対する教育などについて (2) 令和7年度 教育行政の重点施策について (3) その他 5 事務連絡 6 閉会 (全て公開)		

一部公開・非公開 の場合はその理由	非公開部分は、ありません。
配 布 資 料	・ 令和 6 年度第 2 回春日部市総合教育会議 次第 ・ 令和 6 年度第 2 回春日部市総合教育会議 座席表 ・ 令和 6 年度第 2 回春日部市総合教育会議 名簿 ・ 外国人児童生徒に対する教育などについて ・ 令和 7 年度 教育行政の重点施策について
会議録の作成方法	■ 録音テープ等を使用した要点記録
会議録署名の指定	市長による署名

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
説明者	【1 開会】 ≪春日部市総合教育会議要綱第7条により、会議の内容全てを公開とすることの報告等≫ 【2 市長あいさつ】 【3 教育長あいさつ】 ≪ここからの議事進行は、市長≫ 【4 協議・調整事項】 (1) 外国人児童生徒に対する教育などについて ≪資料に従い説明≫
委 員	来日時の年齢や、来日前に日本語を学習する機会があったのかを把握しているか伺います。
説明者	詳細な調査は実施していませんが、就学前から来日している児童は生活に必要な会話程度はできる場合が多く、小学校高学年で来日した場合は日本語指導が必要となる場合が多い印象があります。
委 員	3歳くらいから接していると、非常に早い段階で遊びの中で日本語を習得するが多いと感じています。そういったこどもは、日本語が分からない親のコミュニケーションの助けにつながります。 宗教上の問題で食事がとれない場合は、普段ほかのこどもが使用しているお弁当箱と同じ物を渡し、そこに食べられるものを入れてきてもらうような方法をとっています。 教職員と親とのコミュニケーションはスマホを利用しており、問題は発生していないものの、教職員の負担は大きくなっています。 就学前のこどもに対しては、特別な言語指導はしていません。
委 員	多様な国籍のこどもがいるため、英語だけで対応することは難しく、翻訳アプリが必要となるのは大変だと思います。 日本語教育については、予算等の問題もあるかと思いますが、長期休業期間中に集中的に行う方法や、近隣の学校の児童や生徒等をまとめて指導する方法もあると思います。 学校では、礼拝の部屋は用意しているのか伺います。
説明者	学校の余裕教室を利用して礼拝を行っている実態があります。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	差別等につながらないように配慮が必要と考えます。 ベトナム、ブラジルの方が増えているイメージがあります。国籍、文化、言語が異なるため現場は大変かと思いますが、その都度問題を解決してほしいと思います。 日本語教育に関しては、長期休業期間中に短期集中で行う方法と近隣の学校をまとめて行う方法を提案します。 外国人児童生徒の意見を吸い上げて対応を検討してほしいです。
委 員	日本にどれくらい滞在するのも加味して対応する必要があると考えます。 県の配置基準を見て、少ないと感じました。 日本語指導教員と日本語指導員の役割の違いについて伺います。
説明者	日本語指導教員は、年度当初に日本語指導が必要な児童生徒数に応じて、県から配置されます。したがって、年度途中で新たに日本語教育が必要な児童生徒が転入してきた場合、指導の余裕がないのが現状です。そのような場合には、市が配置する日本語指導員が対応するといった指導の形態をとっています。また、一人のこどもに対して日本語指導教員と日本語指導員の両方が対応するケースもあります。 前提として、日本語指導教員は教員免許が必要で、日本語指導員は免許が必須ではないという違いがあります。
委 員	宗教的な問題や文化的な違いに対応するのは難しいですが、対応する方法を考えていかなければならないと思います。
教育長	外国にルーツのあるこどもは、宗教的な問題や文化の違いなどありますが、やはり一番大きいのは言語の問題だと考えます。 学校では授業や連絡事項をどうするかが課題となっており、翻訳機が効果をあげています。 翻訳機の活用について、デモンストレーションを行います。 《担当者による翻訳機のデモンストレーション》 言語が一番の入口だと考えますので、翻訳機を有効に活用していきたいと思います。 生活面についてはこども同士の遊びの中で自然に学んでいくものだと思います。 また、こどもが親との通訳係になったりすることも大切だと考えますので、検証しながら進めてまいりたいと考えます。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
説明者	(2) 令和7年度 教育行政の重点施策について 《資料に従い説明》
委 員	大沼陸上競技場のリニューアルについて、具体的なイメージが示されて期待が高まっています。ぜひ利用してみたいです。 また、こどもたちが早く使えるように、配慮してほしいです。希望としては、観覧スタンドが一部でも導入されるとよいと思います。
委 員	現在、市外で陸上競技に取り組むこどもたちが多いため、市内の小中学生の陸上競技場として利用できるとよいと思います。 利用時間は決まっているのか伺います。
説明者	現時点では決まっていますが、夜間照明の要望もあり、夜間を含めた利用も検討しています。
委 員	リニューアル整備に至った経緯や、完成時期について伺います。
説明者	リニューアル整備に至った経緯ですが、スポーツ・レクリエーションを活用した地域づくりや中学校陸上大会の市内開催の要望があったこと、また、総合体育施設の整備に本格的に着手するには一定の期間を要することから、先行して大沼陸上競技場のリニューアル整備を行うこととなったものです。 完成の時期については、令和7年度に着手し、概ね1年での完成を見込んでいます。
教育長	大沼陸上競技場のリニューアル整備については、市民にとって年代を問わず素晴らしい施設になると思っており、令和7年度の教育行政の重点施策におけるひとつの目玉になると考えます。 学校教育・社会教育を問わず、ハード面・ソフト面の教育環境の整備に係る事業を着実に進めていきたいと考えています。具体的には、大沼陸上競技場を含め、校舎の長寿命化、トイレの改修、体育館のエアコン、温水プール、神明貝塚など、計画にある事業を着実に前に進められる令和7年度にしたいと考えています。 各部、各課においては本日いただいた意見を、重点施策にしっかりと反映させてほしいと思います。 また、不登校児童が増加していることから、小学校のサポートルームの実現を目指したいと考えています。予算の特段のご配慮をお願いします。 来年度は、第2次春日部市総合振興計画後期基本計画の中間年となりますので、継承と創造・発展というものを具体的に見える化して進めたいと考えています。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長 議 長 事務局	いただいた内容はしっかり受け止め、施策に活かしていきたいと思います。 先ほど委員から質問がありましたが、大沼陸上競技場のリニューアルを先行して実施する理由につきましては、谷原西のスタジアム整備の構想に非常に時間がかかることが挙げられます。整備の優先順位としては、まずは学校教育施設であると考えており、こどもたちが幸せを感じられるような環境づくりを実施したうえで、市民の皆さまが使えるような施設に着手していきたいと考えています。 (3) その他 その他として、皆さまから何かございますか。 《特になし》 【5 事務連絡】 次回の総合教育会議の開催については来年2月の定例教育委員会後の開催を予定しております。会議の内容等につきましては、今後、ご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いします。 【6 閉会】
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和6年11月15日 署名者の職・氏名 春日部市長 岩谷 一弘（原本は自著）	